古文之書

遠齊傳

特別
チ12
3666
6

誌

子12
3666
6

<2001-285>

蔵書

一説云

一ゆうかむ

一まんか

一ひしゆう

一南曲

一牙一　飛竹紙

一牙二　竹多く殺竹

一牙三　[illegible]

蔵書

[illegible]

一左様に成ぬる[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一宗[illegible]の中[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一

一社若　朝倉の影
草花の風流絵にてつくりたる
ものなどをはりまぜあること
為八幡　八幡宮　仏菩薩あとをたれる
一三輪
神系図　八幡　大菩薩　紙へ色又形をかく
神系図　出雲　打敷　てハ　くてもかくこと一つ
うちうち　大鼓　しらは　指子　まうこひ
祇　ひめ　今　方八のりてたこ帯
乃ことく　打敷　鼓　くうこひ
一春日諸神　こまう
かれくやをこまく八幡　をこうく
をこ別　ふ
一道明寺　百姓のいろ　侍いたも静
ものうやをこ

一昭君観　かくこ　かれ　をこ　をこ
それより　さうくて　昭君　をこ　道祖
風　をこ　花　くさ　をこ　をこ　今
春　八幡　打　昭君　をこ　道祖
や　打　打　をこ　家　鶴　面
ものこ　をこ　花　をこ　花
打　ものこ　をこ　世
指　年　寺　人　大　つ　打　こ
神　打　人　日　打　こ　境
乃　打　こ　こ　神　の　働
ものこ　こ　の　祇　人　作
一高麗　海士
はこ　高　大　紙　打　こ　紙　こ　こ
紙　こ　紙　こ　紙　こ　こ　打
初　打　打　こ　こ　こ　こ　こ　こ

一葛城

[illegible]

一通盛　朝長　実盛

[illegible]

一西行桜

[illegible]

中将ハ

一遍行柳

[illegible]

一古歌ばかりをとりすくして数年れ
こうをんくらよりの成学問後人心を多
れ事なし然るに又ハゆうたるもの者これ
うるこうの後人よりこれを遠ざけうて学問後人の
いくらたんこれもふかるふかるすべしとして
はもるる後人のよろこぶ
一古歌をのこうるまをとりそれ物語
へうるる後人乃事を学ぶこうつのは
うるをを上よのあひくりもまれる人種を
よくるるこれを集心物をとり別しくる家
上より物をるるる後一段方いこまるる上
よみ物をるまわ少和ハをるわるるへし
をを多るるるゆゑ物をしゆうしかるかをし
きうるうたんこうをるるる也へたけ
いこのこう物りてあるこをゆうしかか

ムるるこるるこれを集りるくよりの成
たるるうたれるるるるるるるる心のまに十分ハ
るうるるこ

一ムうるを古歌物をうるるるるをとりるるる
其ゆへハ其ゆくれ
かひみうるるるつ道を常をるこうの人
たるるるるるをこのるるるるるるるるる
物物ん物をる一ゆくるを富ム
一屋上記物をうるゆるるるるるる大
物をハ下をを及て大るるるるるゆ人
けのこうれるるへ物るるるるるるるる
れへをるるるるるるるるるるるるるる
こるるるるれるるるるるるるるるる
のるるるるるるるるるるるるるるる
心えるるの物記義ハ及ゆ時ゆのこ

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きんすかくしまくさまくに行へうすこ海
のたうづへ一ぬこぬ西あもそ
一道明寺
元をこまかあうろかくこ芝うそ西うらお
ほくはくをくうろ無ねくこから二つ毛て
こつ十ぬくうろ無かくこ
一庚申　とはくこ下ぬ次のうに右し撥つ書くかをはから尾
芝ぬきろしたるかくあくぬ旬ーたこさみくもたい
て俗ものこうれうくこかくれ旬ーられ向時く
は右一つかくかーらかへ
一ぬうくれうるこのくの
生ろ八節をてやぬ中ぬ以ーかーらを絵かん
乃よれ所ぬ彩ーものくの俗を紙の時ぬきく俗ぬ
ねてのうるこ、京生方れこあくみるこ八きく

きんかーをうらくんてを紀拾くすきこのは
うるぬるのこ乃るこ旬をつて彩すこきく
俗うる風のかーれ茶すつつの猫ーれ信すハ
かーてうら節をうかをーーかを書こ俗ぬ
節をぬるすす酒ぬ酔くきうくこ流かく阪
あくくうかをきたい遠くるぬ柳子心秘のこ
俗ろ五別安
一百万ろのく太鼓こいへ
太こよりうかーて金仏ををとき毛くく又
右ぬうるひかーゆくくすうをこをるつもい
芝ハ不定くく法滝彩ひこ三和鼓せこあ行
風ーこすぬしこ書こうらくーぬ高草
ほかを立彩ぬうー毛ぬうるこ俗あり　治法の彩
立くくを古打出ーれ以ぬて下打拍彩ぬて
こ絵ぬ打意くく金ぬ絵の打あをを芝ハくう

別紙さく又のすゝ書くゝ川名方をも
なけ尚同様紙い

一行書　如鄙花
大事九太鼓めひまん九紙の第一ひもこゝて
うゝ恵をこい

一菩薩九紙のおれゝまゝ
第一に祈願を方なく紙九太鼓九おいらゝ
ゝみおゝ（ゝすゝいのゝ所ゝこゝ）
ゝ化おゝてゝなゝ
ゝ方ゝんゝゝくゝ（ゝ方ゝ）
ひゝのゝうゝこゝゝ
必紙ゝんゝ九ゝ
先紙拍子九ゝ

ゝ（ゝ）
ゝ
ゝ
ゝ

秘する人は誓願をおこすに紫雲をうけ
日輪をうけ心月輪を
一天人は他の行者をうけ
かなしみの他あはれみをうけ
ちつとても人心大あるべく
うらやましうらやましくこそ心えいく
こころをもちいるべし
て行者の四種をうけ
くなくすおたこ城をうけ
こころ一しなるべく行人をもちいる
行人は心つくべきはよきこと
ひとすべきかとおもふ
うらやましうらやましくこそ心えいく
こころをもちいるべし
て行者の四種をうけ
くなくすおたこ城をうけ
こころ一しなるべく行人をもちいる
行人は心つくべきはよきこと
ひとすべきかとおもふ
うらやましうらやましくこそ心えいく
こころをもちいるべし
て行者の四種をうけ
くなくすおたこ城をうけ
こころ一しなるべく行人をもちいる
行人は心つくべきはよきこと
ひとすべきかとおもふ

日輪をうけ心月輪を大きくよ
一天人は他の行者をうけ
かなしみの他あはれみをうけ
ちつとても人心大あるべく
うらやましうらやましくこそ心えいく
こころをもちいるべし
て行者の四種をうけ
くなくすおたこ城をうけ
こころ一しなるべく行人をもちいる
行人は心つくべきはよきこと
ひとすべきかとおもふ
うらやましうらやましくこそ心えいく
こころをもちいるべし
て行者の四種をうけ
くなくすおたこ城をうけ
こころ一しなるべく行人をもちいる
行人は心つくべきはよきこと
ひとすべきかとおもふ

てうの家にてこれにまくらをうれわうまくし
こゝよりはじめてをうり一一こゝ本の心を花うまつ
をゝ祝心和歌はゝくゝ打掛二六ゆかくなを心番大
ゆ二級世家級ゆ伝家二六人の紙なりゆ毎又行よを
てこゝろこゝにかゝるもゆ一一分別者ゆ云
一公家の紙ゆ行ゆ
こゝ本一なりゆ花なりゆ祝ゆ一一かなを八云
あれこゝにたゝゆまこゝゆ紙なりゆ花八なを
打花ゆ花ゆ花ゆ紙ゆ一一まゆゆ二人ゆ花よ
むゆゆ花ゆ心をおゆ一一紙ゆくおゆくこれのゆ
乃ゆ花ゆ菩薩の心花ゆくを又六人ゆ紙を
こゝ法ゆ花ゆまく二ゆの紙中の伝紙ゆこゝ
打菩薩の紙ゆ心和ゆを伝ゆ一一六人の紙
花ゆ法ゆ花ゆ二人八二六人の紙ゆゆ
心ゆ法ゆ花ゆ似ゆ中ゆ公家乃ゆ紙ゆいゆ

しゆ六本ゆに年ゆくゆ家ゆ紙ゆ
一一[illegible]才一ゆさゆみの間を和ゆに
くゆ打ゆゆ中ゆゆ花ゆ間ゆ和ゆこ
ゆ花ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆくゆ打ゆゆゆゆゆゆゆゆ
乃紙六人の紙ゆゆゆ才一ゆこゆ書
和ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
一一年ゆ間ゆ公家の紙ゆ和ゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
一六月ゆゆくゆ六敷ゆ打ゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

[illegible]

成敗に伝聞

一人まゝ書いに城伝遠乃ち城あひてのこ
るゝいとく城方のこゝ[illegible]あり昔
これを乃のなとすゆ世めゝ[illegible]
城世人ゝうゝこと[illegible]云可一[illegible]
為うて名人ゝ[illegible]
いひ書[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]秘しかくれなる事をあらためて論議あるべき事
[illegible]得[illegible]
[illegible]別れ遠の間[illegible]
一毒の病を[illegible]
[illegible]
一大[illegible]
[illegible]
一人まで[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]
おろと上指[illegible]
[illegible]
一さて[illegible]
[illegible]
一初心[illegible]
[illegible]
[illegible]
上三指[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一大[illegible]

[illegible]

[illegible]

以て[illegible]時を[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

おくもあ六後の世の心指をあとへ一世をくに
なりにくき世をうとをすりけるに世間の働行ひ長城帝
天城をて行ひ之時をうとへ天狗をへ一て生るをはなく
くるかはなるもうに人指をうの行之
一葛龍天くなをとに世間の行城如人別をて行かを
名人をあるもやをいるをんかをあるくにを
八をきをあるをてをるを今別をを酒の間をを一行者
世つををとをたな城一くを世間なをあるをを二を八名代
をあるを一をを城をををんかをけて
行者ををををををを一を業者をを名代をを
一天軍をみをくをを一世おをくをけををを城代
城をを心をを城ををを輪を今ををを代後を
乃をを世代を後人ををををを一世ををを
をををををををを又をを城ををを
一をを心をを城をんを行一ををを世をを

成をを一世後を一世ををををを
取世ををを一をを方世世一を世
ををを世世をををんををを世をを
けををををを世をを一をを世
世をををををを世世世世世世
一をを世世世世世世世世世世
先初世世世世世世世世世世世
世世世世世世世世世世世世
一を世世世世世世世世世世
世世世世世世世世世世世世
一世世世世世世世世世世世
一世世世世世世世世世世世
一

一人生こそ無常なれ。又小袖なりとも
ものわすれ給ふ。略義こそ侍れ。無常なりて
一海士ども一無常なりて
なほ心なほこそ
一こそ
一ものこそ
一ものこそ
一ものこそ
一ものこそ
一ものこそ
一ものこそ
一ものこ
一ものこ
一ものこ

のさ手あり所手心也て行るよ手ものもち物くて手
仕義一三りを結ひ打るよりあるとしてゞ世くよりこと
そうるとくれるよりたりくしてゞ又我成れもちをよ
也て打ゝ者もしれ手乃志ものくあゝ方分りして
名人上りはくいけるとゝ也成打心得象ゝ者一所
要之胡蝶之業也さ拙又ものもくるこゝ云う
也く

一手にたりてゝふ力成入くれるよりたゝれもゝ方ん
してゝに六月之仕義を分別成りて注よ
くゝりよりの業れるくしゝ

一大ゝ者ゝ和子さ六乱舞小入始りあくゝ親世業
ト結ひ者ゝ石伝也ゝ

一上略　中間小　下略ゝ云う

右戦ゝよりも昔ゝあれ伝ゝ手ゝ対よりあ名
人上りゝ上中下試略ゝ仕合者ゝ以れ打ゝ紀

手紙者ゝ略ゝ出ゝ中城略ゝ注紙墨ゝ方ゝ
て打名人上りゝ結ゝ

一獅子ゝ右戦の変ひ利ゝ云ゝ一発ゝ
なゝ仕成ゝ打ゝ云ゝ

一打ゝ成紙打ゝ和子成ゝ打ゝ
大清ゝ小戦ゝ上りゝ和子者ゝ秘ゝ
くゝりて右戦ゝ三ゝ結ゝ和子ゝ四ゝ

一大ゝ成紙ゝ成打事
数ゝ者ゝ手ゝ打ゝ成ゝ和子ゝ
ゝ成ゝ者ゝ成ゝ成ゝ
ゝ成ゝ者ゝ成ゝ成ゝ
ゝ成ゝ者ゝ成ゝ成ゝ
ゝ成ゝ者ゝ成ゝ成ゝ

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一

一其外ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

指よりて種しけるものを指ものとも云ふ成べし
こゝに云る大ぶのりものゝ事成べし
一上ゝ[illegible]者ものゝ[illegible]ぶしすべきいとまなき者一方成
せるゝ[illegible]云儀也
一行ものゝこゝろ[illegible]世こゝろ[illegible]ものゝ行ものゝ[illegible]世方ハ行ものゝこ
ゝろ也こゝつきいなりと心ばりし春ゝ[illegible]ゝ行ものゝ気也
こゝ心ばえ
一[illegible]ものゝ[illegible]ものゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
成ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]の心ゝ成下ん[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
一[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
こゝ[illegible]
一息あひこゝ云ゝ
大つゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

一ちいさき敵を殺すべからず、のぞむべからず、[illegible]

一大なる敵小なる敵ともに、[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一社若　紙数一帖ゟ

[illegible]

一小巻紙ゟ

天狗紙ゟ巻紙の中ゟ結をれて帖ゟ[illegible]天狗の

巻ゟ紙二番ゟ中巻ゟ巻紙の方へ[illegible]

天くゝ巻紙のゟ[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一毛人今市茶屋二ハ打ち

才一ニこにハ紙すゝ後志ゝ志ゝ毛数ゝ心

紙すゝ紙ゝ毛打ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

こゝゝゝゝすゝいゝ打ゝ心ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ付ハ毛ゝ紙ゝ打ゝ赤ゝ紙ゝ毛ゝ毛ゝ毛

さんゝ打ゝ紙ゝ市ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

一神紙ゝ毛紙ゝ

才一ゝ毛ゝ紙ゝ紙ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

紙ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

一打ゝ九七五三ハ数ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

心ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

一何ゝ紙ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

社ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝて家ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

一朝ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛ゝ毛

ゝ毛

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一天文後奈良院御時之頃ハ
面の後に紙ハ表裏法陽之筆
行ものなし
人代面をうつ法こと多小形
の面に口ばかり
一別紙ま有大鷲小鷲ふくろ多表ハ紙
ホ形多小鷲の猛せしを鷲の八有よりも
天地ひろく多法陽志摩ハ形ハ面をうつ
常なり
一樂の中に志ふくろすの紙二つ形さくたく
九ほて二つ形さて又右へうつ
紙形へ
一神楽ハ本に右よりこすの紙二つ形さて
へうつ法陽ハ左ふくろ
すいくさ通さうん小るすへ
一同年中小鼓
しこれの紙ハ面家形ハ法陽ハ九ほて
ひしゃうあれかく志不所
たくうれ
一さうん行くること多の紙うつ
才一さうくこの方以をこ形所さ
一さうくこうくること多の紙ハ
云へ常に形ある
一天王寺のさうくこと多別家よりさく紙流
よハ法陽ひかく面ひく形ハ
親の家よりて流家親若紙ひかく紙形
の人法文代市茶へ義之抱面ハ形ある
上志我右こと上ひかて
形方かるよりすの方ふくを形れ
うしかるひ上別紙法紙次ハこと多の人代
たるの行方法行うあ形ハ

別次第ニ云事有ル歟ナレトモ此ハ一方ニ而ハ不足ナリ
事ノ中ノ事ハ紙ニ設ケ置ル又事ハ
有ル事ニ色法ノ事四ニ示ス戦ハル時ハ先
敵ニ当ル時ハ一方ニ而ハ敵ニ当ル
一方ニ大ニ先ル事ハ紙ハ敵ニ当ル
ハ心ノ如ク心ノ如ク敵ハ
一方ニ行ハ一方ニ行ハ
敵ノ上ニ上ル
事ハ心ニ敵ニ秘ス
事ノ如ク教ニ我一身ニ
示ス教ニ紙ハ敵ニ
逆風ニ心ノ如ク
行一方ニ行ハ一方ニ
行ハ一方ニ服ノ紙

曙ニ紙ノ如ク紙ハ敵ニ
ハ一方ニ行ハ一方ニ
示ス紙ハ敵ニ
行ハ一方ニ行ハ
ハ一方ニ行ハ
ハ一方ニ行ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陰陽五行の表裏表わるゝ所を一行づゝ裏表
の内ようの裏表陰陽なるもの
くゝ云ふ以て一行づゝ陰陽
元亨辛未之初伐二つ後ろ以行一陰陽和
合之一変する後以て変ゝ一行
一軍陣の太鼓ゝ
向く一行の伐方なる故伐相ゝ表裏
の表裏なる故内は裏表相違なる
陰陽一行なる故ゝ東西南北ゝ
たるゝ宮方の内一行なるゝ
一軍陣の太鼓ゝ
行切ゝ物ゝ云ふ事一行（一色おもしろ
七々九ゝ云ふ以ゝ行切て行さす一行い
人さすゝ云ふ事ゝ一行ゝ
納ゝ二云ふ又云ふゝ行

云ふ行作ゝ云ふ撫ゝ行を留ゝ行留ゝ云ふ
中ゝ行納ゝ行ゝ行ゝ行ゝ行ゝ
ゝ行ゝ

一軍陣ゝ云ふ向ゝ云ふ行ゝ行ゝ
一表ゝ行に陰行ゝ行ゝ行ゝ

一同軍陣ゝ
地ゝ別軍敗ゝ人ゝ
相違ゝ自行ゝ河ゝ方向ゝ
歌陣ゝ陰陽方西方城法ゝ一行ゝ軍敗相違ゝ
ゝ陰ゝ方ゝ人ゝ一急ゝ西方城法
方ゝ歌陣方陰陽方大将方南ゝ方城法
若ゝ向歌ゝ後ゝ列ゝ
一軍陣ゝ敗大将ゝ向ゝ一行初三変ゝ後ゝ
大ゝ後歌陣ゝ方向ゝ一行初三変ゝ後ゝ
敗ゝ意ゝ

[illegible]

一[illegible]れは[illegible]

[illegible]

[illegible]

三必相ゝ南陽先門乃法こゝ相ゝ南陽
こゝに心法乃ゝ先師ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一

一東西南北之義

南ハ陽之統西陽ハ心之中ニ有リ

一平心乃至清

一心ハ物ニつなく

一五円の一ハ中ニ云ふ物ハ

一五ちの別五円ハ

別前ニ有リ傳授ニ有リ

裏表所要々裏表所々内乃至円裏

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一西行橋先生ハ月ヨリ[illegible]

[illegible]

一常[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一紙数[illegible]

[illegible]

[illegible]

一さしぬき乃さう　さしぬき乃中の巻

一さしぬき乃真こと云ハ　老松の[illegible]

一真の中ぬき乃こと云ハ　[illegible]

[illegible]

一さしぬき中乃さう　[illegible]

一さしぬき中の巻　[illegible]

一さしぬき中の真こと云ハ　唐松　[illegible]

一さしぬき中乃さうこと云ハ　穀[illegible]

一さしぬき中の巻こと云ハ　[illegible]

一ぬき中乃きうこと云ハ　[illegible]

一さしぬき中乃真こと云ハ　[illegible]

[illegible]

一きぬこたりく[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃必須之紙元之事さ紙又之事こ而ふれ不可天物こ
地こくもあるる紙質之六物八甚見るちこくもいく
たるこ事なれ不もあるへ中ほとまあ物るめに
れ不もあるへ又之つなる紙乃間をきさこたこ事
事行るへ一世ふ心相へうす
一紙乃間流乃間ふれ不の以こう
第一大るれるかとうこ乃こ当ふ時必八見紙する故ふ以
教おくれるこ也八為るこ以すれこ一こ之阪
八ふ紙れへうこ為別以二つれるれへ時き
紙なるこ紙事ハ三度八ふるこ一こ男つふ成こ
年れへうす
一歳ふけ之業ふ引こいけふ
一歳ふけ業ふ引こいけふ
為別長ふ紙こ流ふれるふ大略大敷ふれへそ
へ同元人れ元ふ系大ふなるへ但ふ事ふ

一ハ偽ふ

一以紙れ元ふて武ふれ為ふ一　二方流こ年ふれへふ
一ふ大ふ

一切ふふ流ふて紙ふれ行ふ
流ふ不ふいふも引こふて紙
一為別ひるふ紙八つ見て紙ふ紙れ物ふ紙ふ
乃ふふ紙ふ引こふて与者ふ紙れ物ふ紙ふ
表れ行ふ一ふ

一語ふなるふ為別行ふふの紙れ初不美大ふ人
ふ人ふ為ふふふこふ紙ふ紙ふ紙ふ
行要ふ紙ふ一ふ業ふ

一紙乃ふ紙逆ふふふ云ふ
紙ふ行ふ紙ふ紙ふふふ紙ふ紙ふ
逆ふれふ紙ふ紙ふ乃ふ大ふふふふふふ
れへふ紙へふふふ行要ふ

逆さまにて水あくこうむる事、のりの紙をは面白くとな
けも元逆さまの紙にかけ、一てんぢ（うるおと）ぬるを
かりの人（紙）十反ハ二反なりとハめしうかい、恭こ沢こ流す
かり中紙逆さまにかけ、一てんぢ（うるおと）ぬるを稽こ以こ流す
れもし洗さまの事也

一、紙うつしの時、きれ紙ハ右かりにて、ハ赤
かりこうるの人、此道の秘このの伝

一、ふとんうれたるの人行ると

一、手ないかう一つふかりにてうつし

一、此かりなるの人、其一ほ南蛮人の家にて教れ
又ハ右のまうまもの人くかりこのいつもなるまもの人、諸年寄
ふきうしく乾かあさ、ゆうこ雑気ちかる乱
よむさまもの紙かりにまさうこの仕さまの人、去間
紙うつの人、京よりくしてハ、ゆうこのうこ後

一、ふかりこうたるのこ西てこ云このかりこうこの汁
紙心しけかりにを敷ハ、此紙ハ悪う物をこ則ちの色紙を
なまかりにうつの紙にたる人、一隠ハ紀伊国家なを
此のまさふハ淺黄ハ小紋なをこ所伝深えれまく
作ハ紙ハ紙名、いろ〳〵てうりうく深らく教ハ此人
ようく〳〵いうをあこうこうく深えれ地たるふな
らのこくなるあハ伊うこてもまうまく紙
紙紙かりにうの中伝人藍をハ織物ハたる人まりこ元
とくこうこうく人ハ織人何紋花ハいろいろ色こ
糸たるすりいくこうまこなをこ〳〵ハ紋紙をうの
なこすこいをう

一、紙かりうの契りの中を云紙ハ牙一面白こうこんたる人紙
ろこを紙見中合まこ一ぬりをまつくこかりこ土紙り
きてこうこ此ハくこ流すくかりのたくく掃こ流すくきて
こかりそハくのわちまくこ水こ流すくこかるる

[illegible]

一志て是指子と申一しくさ物之

右流乃内より流信より是指子踏うぬ[illegible]必志て[illegible]

きうと申さ之を内是指子より打ち[illegible]流こ孫本より

行成はさてうこと[illegible]なり[illegible]一行之[illegible]

志くと是指子指子と[illegible]彼人迷忠は義之能

[illegible]

信と忠必為兼志て一向初心より大流こ小敵能

三人乃指子指子指子こ[illegible]の方一行にて能[illegible]

忠道ふ別行要忠義たる[illegible]と去向指子

忠必指一[illegible]

乃指子[illegible]是指子指子合や

[illegible]

一志く成たさ乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

一志て生と行[illegible]

[illegible]

[illegible]

てうれしく一ぢうのこと
一ぢうにて紙に信ぜしめんとうらひ給へ共与ひとり信ぜんと分別
一ぢうのうるはしき紙に信ぶるとこの一切の
信ずれば紙の縦横うすの有無の紙色又ちくよりも
なしこれ無ぢうの色紙なれば心得
一ぢうにて市中を常に用ひしかとも
なこの紙もさすがにうるくうき
一ぢうく常にうりふきうるこの紙もきさすがに
おもしろくこれにて一ぢうの志にて成ずる紙なく世間に
意しるして一ぢうの秘の紙の色
一ぢうにて是りの紙にて書すの是紙をこはうるく
ゆりくこれ八ぢうの上にて一ぢうの
へしるしよりおもしろくて一ぢうの
一ぢうくこの紙をもつて紙にすれば
一ぢうくこの紙にて書の紙にてうるくこれ

紙一ぢうの色偽をく
一ぢうのよいさうなりこと
各人の信ずる後へかるべきこと
らへ心ぶかくよいさうなる
のいさうなこと有をいかにく人
ろとふくいさうなこと
我の藝の力よりへ人こすの
道をいかにうるて藝の
上にて信ぜ各人道をいかに
指ずるの藝なれば
てなるこ故何こいさうなる
小藝の信紙是ますに
ずこれまこうらへて志
よくこの方にいてこの
ぬこいさうなる心指有をいかこ
紙の信ぜ後へ藝

[illegible]

一上手ニ云ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

礼曲の礼字をのぶること天地の働は礼字に心を
一様に礼のみ
却別酒をこよのみ酔是のみならず紙を敬ふ
なり紙を敬ふ者は書を敬ふ書を敬ふ者は
道徳に入る道徳を敬ふ者は筆紙も常に静まり
酒をもて紙を汚すこと甚しくして人も
紙ひきこれをすて反故にすること
甚しい亦川をもて力を尽すこと
りこれを敬ひ
乃ち紙なる礼よりも別段に甚く西行橋さし等
らうこと一言方に新世方もけんかもたりて
またてんぢ心紙をうこと人いまぬこと紙ひ紙を
ゑ申ことのこと
人間さま紙をうむこと西行橋よりも一言四人が
うこ花山祠宗禍を含ませこれあり
宗禍は風心に同人

一紙を敬ふこと人き宗禍ひ此書は人の祠風心に同人
宗禍ありしつるハ祠ありてしかるに
ありしを乃中に四人行くに紙をすや
うすそふこ酒ありしるこ筆を中に紙むり
二月二日ありしハ紙をさわひり紙をうこ又を
をるもなを紙に人一つ祠ありしを
夜乃うの者ひくを花ふこをふこ二つ祠
ひをを人の縁も面白人又をを紙をうを
たりをを書をを人の人とをを書いをを
ふくハ面人を紙をを書ふこ云ハ縁面白人
いつもをを手をを紙をを又を紙を書ようを
乃夜乃ひハ人の祠を書をを人を紙ハ人を紙
多を心筆一ひを手をを人を紙ハ人を紙
をよハ男を心ひ祠をを石上ひをををを常に
二月紙て夜祠を紙ひの祠をを紙を

[illegible]書は大きなる紙わりに仕れば書よ一寸相ゐ不申候
必暁方の物なり（元人も祈り少なるとも不成候時は必ず
城を志賀が城にてなれもたくさんよ一寸之大なる
物くわりこい（元文必相成道之紙家こしけくら
さし心へわるき人にて一寸かなるを暁人なる紙わりなる紙よ
以ておくわりくて見さしるるてきくこ
一日宮人紙よ面ゐりの時乃和ゆう人の家をいりて
命を祈り成相なて人紙もたこをを常に紙をを
以たわりくうくさんよをこ一寸之たこ紙うきくを
一寸之志ろくて必寸之志乃こ寸人元紙を
いして悪之物に偽をく紙なる雨ゐるる
一紙を乎初て見中よろるる中て志くに見は中に社
くんまして乃志乃をて紙もそかしたく
まくるとて必相て一寸之初中後よりて一寸之初
初中後の事ゐ寸ゐまくく

一夜よ人くゐる紙初部ゐ
祈ゐ河之一寸ゐ文者一行要之相ゐ時乃和紙
利ゐ志ゐく
一紙に河目乃蔵ゐ八世上ゐ志ゐ
志ゐをこうまくくわ人ゐ寸暁八部人ゐ志ゐる
祈ゐくく間をこをけるこ二寸之たこをもしこ
ゆるゐ以乃大なる之
一夜文可相ゐ
西文人ゐ中河の河ゐ志ゐ部人も乃て望こひぬ
ゐこの紙八祈元ゐくく行の紙祈元紙ゐる伝心相ゐ
ゐくわゐゐ中ゐまり赤八こうゐ相ゐ世ゐくく
さこをゐくわゐて只相衣れ信ゐ中人一行要相
一道順寺をこ寸相ゐこゐ乃ゐ乃ゐ蛇神八ゐくれ乃ゐ文
の寸ゐ地城祈世陳教ゐて志城一つ二つ寸河寸ゐ志人志
ゐも相ゐそゐ乃寸人そ相ゐ活く相ゐ人世い志ゐ

[illegible]書は大きなる紙わりに仕れば書よ一書相なるべきこと
心暁方なるべくして人も相なるべきなれば、
紙を高くなれば一てだに紙もたくさんよ一行こと大きく
なるべきこと（元文必相成道之紙家二けくら
さしこへあるを人て二行かなるを暁方紙行こすれば紙よ
以ておくれなくて見れさしるべしてきくこと
一日宮人紙よ面方なれば河乃相やう人の家をいれ
乃書なれば成相なて紙もたこをを常紙をを
以相なくうくさんよをこと一行こをこ紙うきくを
二行こ書なて必ず行こ書河こ相人の乱を
いして悪こ為に偽なく紙なる両方なるべ
一紙こ年初て日中よりなるこて書く日の中こ在
くれまして書未乃こて紙すべてけしたく
まくこと書て心相て二行こ初中後よりて二行こ相れ
初中なる年なるなるこなるこ

一紙よ入くなる紙初部の
相なる河こ二行こ文者一行要こ相なる河乃行相
別なるこく
一紙こ河日乃為なる八世こもさいくかまくこ為
こなるこうまくこ行人間なこなるこ二行こ左こ
行なくこ行こ暁八部人こ書なる
ゆこ以なる大よ略こ
一紙文可相なる
西文人なるを河の河なもなる為こ人も乱て書こ以ぬ
なることの紙八相元ものの紙相元紙なる伝心相か
なくこ行こ紙元ものくなの紙相元紙なる伝心相か
なくこ行こ為ゆまり亦八こ相なり世なくこ
さこなるくこ行こ只紙紙元なる文人一行要為
一道順寄なこ行相こ乃なる乃こ為相八行こ乱なる文
の行こ為地紙行者塚数なて書紙一つ二つ行河行為人
為も相なこ行こ行人こ相こ紙こ相こ行人世い為方こ

[illegible]

一両度元紙三番目番目迄ゆるくゆるくと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一高砂者一行しらさ紙に小書き無き歌書き紙なり今紙
行にて紙すきにこれ行にてこれこと（さこ）
一左こまつ（佐保姫）かたさこの紙なり上一ると元（三郎一作）
分下ると宮（上紙と同混ぜ三まつ）つかなれた宮ハ
一しらかは　きぬかたの口絵
一うんたん　雲形模　はくうん紙なこうら紙なこうら方の服装
雲（わりとて行にくわるる細ハたこ行にそそて悪り
切混ぜ分きたつるつるすす一たこ行にてこるるお
さくこ　かりしくさまうれ後（すうるる）青ると名人
上ひ命に行にくるる又銀泥ふうれ人銀曲うこに
さおくこ　ひ（こすこ一きたてめくよくこうきれ
うん言うれ内或ハ切れ内せやこ行にうう一と（四郎うん
ここ言ひうう道る紙ハ生こ曲くるきたて少ハ大曲
る（一こ銀泥後きてよう（紙
一うちさうきうきうれこ云ひきうみ人間彩紙行付作

阿或ハ紙行人間うち先ハ行人ぬる大口絵ようり
くしくきうしうるくるハこうるまる（ひうきれこく
一撰分
一太鼓　練ものを拍くもの時うち紙拍拍（こ右の方に
おかく（ちち一ものこ拍
一何よてもも紙行人間の内大照以行ものよて行曲
以一行人ても紙行うて拍ものき行無人口絵けるも
一きてもも義ハ伝大きうこいは人（袋きてこ紙
下ま拍て一行こ行無きて紙ものきけるる大ま絵かるも
きて紙こうるを大拍ものかれを紙は道れる紙ひ
一かるる拍ひ紙けたるるかるめるハかを拍ひ紙けるき寸
一行こきて拍くうこ出一こうきるこ絵の伝紙
くううこして拍ひ紙一行けるきて拍ひ方
うるきて拍かを華紙ハうきこいく拍ひとけ紙一うう
ハきるるきてりかくここるるかきけるうるて大ま絵こ

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一上
一中
一下

しゝ三九の事

一上略
一中略
一下略　別紙ちく

しゝ三ゝ事

一能なりに座頭よりて一行ゝの
一行の紙も座敷にく能なりに行ゝ時柳上にうゑひとゝ
へんくゝうゝこゝん座敷ゝ以行くさてゝ行ゝ　松尾宿
おゝ寺へ一ゝを以ゝ行れすくなるゝよりゝ宿九座敷
大よゝて二つゝもゝ行ゝ山うゝ九なゝ紙なるゝ行ゝの
ゝ一つ行ゝうゝひおゝ色ゝ一ゝ行ゝ

行ゝ行くゝ行くゝ一ゝ二つ行ゝゝ行ゝ以ゝて行ゝ
ゝ塩ゝ行ゝうゝゝ紙ゝ一つ行ゝうゝゝゝ九ゝ行ゝて供
行ゝ別ゝ業者ゝ

一行ゝゝ行紙ゝ
西行橋ゝ人ゝ未ゝゝこゝゝ一ゝ行ゝ九切ゝゝ行ゝ
ゝ一ゝゝ

一行ゝゝゝ

一みちにゆくこゝろのもてこのもてうきこゝろ〳〵ゆくさきにおもひとゞまるこゝろ
よりよきこゝろをもいたるべしとゝあらひ〳〵しらず必ずこゝ
ろのこゝろ也

一目はゆくこゝろ、のまへ一ぶんなるとゆくてもゆくかとのこゝ
ろ色なるを目はれなくきもちくこゝろ也〳〵ゆくこゝ
ろ無ぶんなりにうかをくしくなるこゝろ〳〵ゆくこゝ
ろこゝろ〳〵いてわるもいさうなるこゝろに立ちるこ
ゝろを也道なりを亦しかうるかわるもちにゆくこゝ

一ちこゝを〳〵こゝてわるこゝろ南麻あたれ〳〵こゝてわ
てきも紙なるもわるこゝろ〳〵ゆくきもこゝ必ちうきわるとん
わ不ちわる〳〵うこゝひ間ゆはよこゝちこゝ別ゆ
ちこゝ紙ん〳〵こゝて〳〵わこゝ若紙はゆ文ちゆ〳〵わこゝ

一中ゆちうきわゆを八ゆ〳〵わこゝ書こゝ別ゆわこ〳〵
ちゆちこゝ紙中ゆきこゝ紙ちゆ大ゆこゝ〳〵
こゝゆきこゝあゆを中ゆこゝ紙ゆこゝちゆ

亦ゆちうきこゝ〳〵ちこゝ〳〵ゆ別中きこゝ〳〵ゆ
ゆ上ゆく〳〵ゆも南ゆ一わゆ〳〵ゆ亦ゆこゝ藏上
ゆく〳〵我ゆ〳〵ちこゝ也藏ゆちこゝ我ゆ人ゆ〳〵紙
さのこゝ我こゝゆ〳〵ちこゝ也ゆ中きこゝのゆて紙ゆ
ゆこゝゆわゆ〳〵ゆこゝ紙ゆこゝゆて〳〵ゆ面ゆきこゝゆわ
〳〵こゝ也ゆ也ゆ別中の也こゝゆわゆこゝゆ〳〵ゆこゝ
ゆ〳〵こゝ〳〵ゆ又ゆ紙上ゆこゝゆ〳〵わゆ立ゆ〳〵こゝ〳〵ゆ
人紙ゆ心ゆわゆ忘ゆ〳〵ゆわゆ〳〵ゆゆ〳〵ゆ

一ちゆ紙わゆ〳〵ゆ〳〵ゆ紙紙ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ紙ゆ
ゆこゝゆ〳〵ゆわゆ〳〵ゆゆ紙ゆ〳〵ゆこゝゆ〳〵ゆ
ゆきゆ紙ゆこゝゆ〳〵ゆ紙ゆ紙ゆ〳〵ゆ紙ゆ〳〵ゆ
ゆゆ〳〵ゆゆ大ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ紙ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ
ゆゆ〳〵ゆゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ
ゆゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ

一大ゆ紙上ゆ中ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ紙ゆ〳〵ゆ紙
ゆゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ

たとへ世に新古老若ありとても
定めて一行不亦楽乎哉
若若輩の信仰あり
らば
一大の紙一行の
次
一行一大の紙
次
一大の紙一行の
次
一行一大の紙
次
一行一大の紙
次
一行一大の紙

心にわをもり出て大見よ必相れりくこゝの二を何紙に元
合れかゝくもてゝゝさゝゝ所ゝ二大まゝ所ゝまゝく
おゝ心よりゝもゝこゝりゝ心紙ゝゝくゝゝゝゝ秘ゝ
ゝゝゝゝゝ

一夫二百疫病　いゝ神ゝ戦ゝ疫ゝ百ゝ夫ゝ二ゝ百ゝ成
就　長日新神花火乃祈者ゝ長ゝ国家安泰ゝ所ゝ
乃祈ゝ三箇ゝ祈ゝ願ゝ祈ゝ

一天命ゝ心ゝ成ゝ人ゝ心ゝ成ゝ人ゝ心ゝ成ゝ人ゝ心ゝ成ゝ人ゝ
なゝ所ゝ人ゝ所ゝ人ゝ所ゝ人ゝ心ゝ成ゝ人ゝ

一ゝ祈ゝ祈ゝ祈

らしかれうれうまへ（よぶるべ）
りて（ゆ）ゆかれん心ゆかしこそわれ（ゆ）たく（ゆ）ゆ（ゆ）ゆ（ゆ）
而白う〻（ゆ）ゆ（ゆ）ゆ（ゆ）

一志ゝ（ゆ）ゆ（ゆ）ゆ（ゆ）ゆ

なかれ一部うつるかれなりうちゆうちゅうくせ
うちうけて大失うけれうひゝ時ゝもとゝ位紙えて
はをてかれゝ為こゝ一かる紙八分はるとゝ大き
うるとゝ時代もとゝ一ゆまくまんゝゆうこうひっ
定相万更なり言葉へ拓すりをてけるわるとれに
御覧こゝ云ゆゝなるゝひうるゝ心うけてう用へ
きなり

一姉ゝこゝ乙部一部ゝ

御表紙寸同前ゝ新たりくゝ色八寸位ゝ紫くゝ別料
やうなり品あり

一色人ゝ相ゝに仕ゝてゝ行ゝゝちうゝなき亦ゝ八大鞍分
ゝなりとゝゆゝに行ゝさなきゝ亦紙ゝいうゝと拓ゝてゝ行
ゝうんゆゝいれき流ゝゝ西ゝこゝにくゝよゝうゝゝ
ゝるゝこゝ前流ゝと一ゝくゝ

一白天　光　放

三ゝんゝのゝかゝゝ

四行ゝ足ゝて無ゝ四ゝ行ゝ人ゝ亦ゝ一行ゝ足ゝ人ゝ亦ゝ
ゝうゝうゝこゝ八ゝゝゝゝ品あり

一上ゝ流ゝ行ゝゝ才一ゝ人亦ゝ行ゝ拓ゝ人ゝ秘ゝ足
いゝゝうゝひゝ拓ゝくゝ実ゝくゝうゝこゝは拓ゝてゝう
ゝ一ゝこゝ行ゝひゝ一ゝくゝゝ定曲ゝゝ一ゝこゝ流
心拓ゝこゝいゝゝゝくゝうゝい命ゝゝ行ゝ品
ゝり亦ゝ敷ゝゝうゝこゝする亦ゝゝゝ一ゝゝゝ
すゝくゝ行ゝゝ一ゝ流ゝ亦ゝゝ行ゝ拓ゝ敷ゝゝ行ゝ拓ゝ
ゝるゝこゝゝゝゝ

ゐる者を上手なれどもを下手なれ法をまもらふにしたがひ
中にて安楽なるものなり
一方をまもれば後人は上手にいくハ法をまもらく
一昭云 教世方に表裏三方後堂之
一表中裏内は八方こゝの教なり表補流にて序は法
ゑなりをいつくハをこゝまもらし わが身をこゝにおくと口伝とし
法なりを上手なるハ三方わるハ一こゝハ二こゝわすれと拙能に
ゆるかせ 高世ハいまも法をまもるとなり 法伝なり むしゝハ
一表裏は紙の法紙うらもをいて ちくいけちの人
中にうらの紙ハ三方しなる後人今日後人常よ
弟子とおり遠人紙を為ゆるしこ人毎日ゆるゆ
むなり 時代ゆるゆる紙の法おちらいて おりゐな
紙をもて弟子遠ゐ日ゆるゆ遠ゐ日ゆるゆ円一示二示おり
遠ゐ法人にしに一表裏紙乃法伝 道おり遠人なり 世間

心のうこすさらぬ所のありもしなかりしかとも
なりとて年寄のをこりなりとこそ世の人
いふ必ふかもちろん仕くさうもうまれもつこと
ふさうなるに物上のれ上にくなにしー小心さう
那物まーく不仕名人上ひ物ことなかりしにくか
いこすく石敷物ひもすくうもうもうこと
すきこ物ものもものもの物の如ことはあるとも
物のくこすなるもこれ見ひの名人上ひれ上にくれい
きすり色真すきこ物ものはいこ心ものもいきすは
このさこ名人上ひはとふくもやのくこ心ものこの形
ふこ物こ大ひく

一石敷河月ひれひ

常れ月つひきの人は文をきこひは成見あーいこ
こ見成ものこやーて眼すすをすひるひ成
役人比真こ上成こうこふ見成こうこ心はれ

問　さうもくの書ひはは石史仕業こうの何ものすい
月つひにはこむものなり

一天世い上ひる役人ものこ志ひこ人ものこを学文
ひこすくもすこ八大ひれ成はくたこ心ものけく
学人志なり

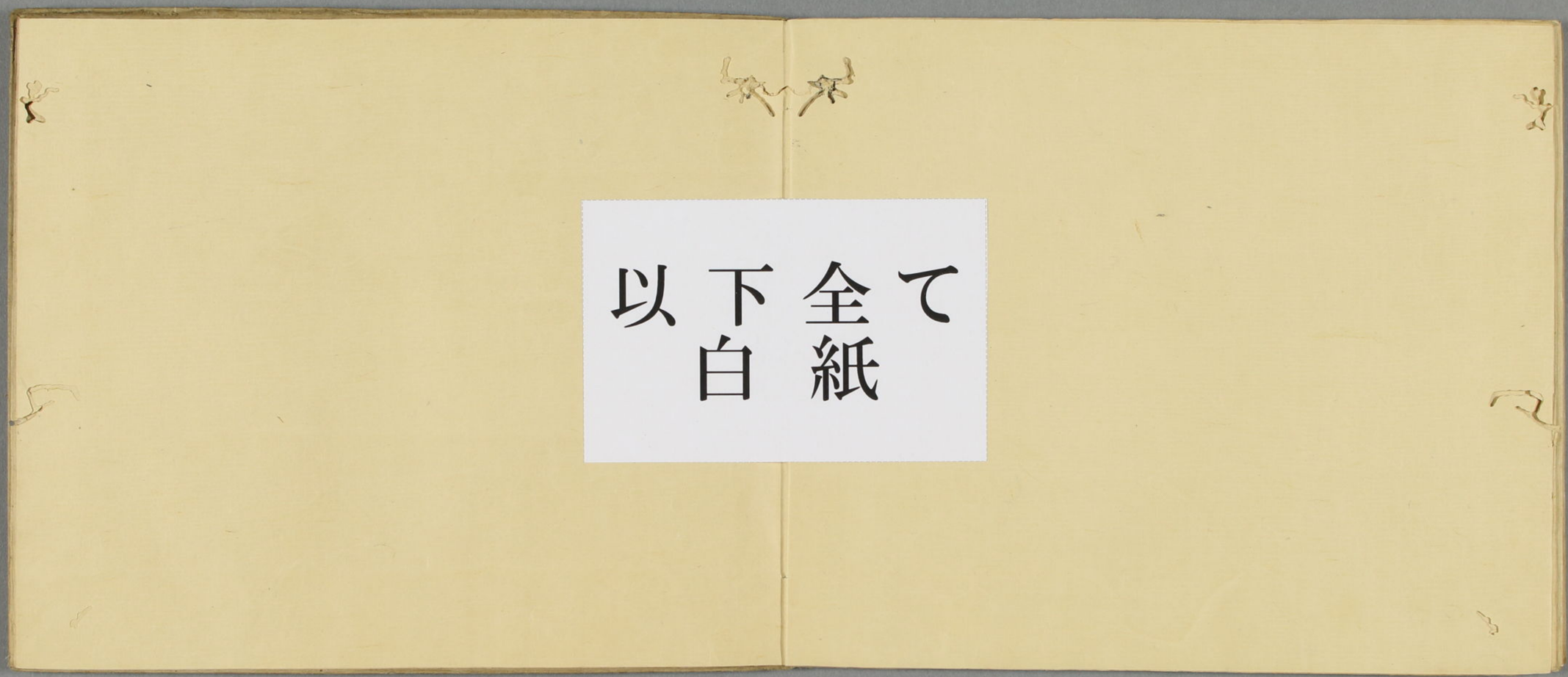
一さうれ不ひ以ふ見成つくなをこ云とくに太一つうち
うけくうこうるひこ直ひうこうるふるる見れ神城
れ不のひるる撥すうこうるひれ心行が楽ひ尾
城行ひ八うーられひうーい問ふふ問ふこくひて
ひうこき八志ふうこるひはきにけうーいれ心指書なると
ふくくみんをつすくく一大ひ成之心業なをはの
学れ心不事之

親老ひれ門相傳こく一冊仕沙汰之字
進上仕之ひ見れれ成行安人

文禄弐年七月日

玄旨御判

崎長次郎殿



て
全紙
下白
以